



2025年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月9日

上場会社名 神姫バス株式会社 上場取引所 東
コード番号 9083 URL <https://www.shinkibus.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長尾 真
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 濱田 環樹 TEL 079-223-1243
定時株主総会開催予定日 2025年6月25日 配当支払開始予定日 2025年6月26日
有価証券報告書提出予定日 2025年6月25日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期の連結業績（2024年4月1日～2025年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	52,954	7.0	3,474	10.5	3,729	13.6	2,471	9.8
2024年3月期	49,480	10.4	3,145	33.1	3,283	25.2	2,251	27.5

(注) 包括利益 2025年3月期 2,367百万円 (△11.7%) 2024年3月期 2,682百万円 (27.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	409.89	—	5.1	5.7	6.6
2024年3月期	373.72	—	4.9	5.3	6.4

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 17百万円 2024年3月期 △6百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	67,073	49,463	73.7	8,201.45
2024年3月期	63,070	47,392	75.1	7,865.57

(参考) 自己資本 2025年3月期 49,463百万円 2024年3月期 47,392百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	4,704	△5,286	554	5,919
2024年3月期	3,664	△6,469	△1,230	5,946

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	—	17.50	—	22.50	40.00	241	10.7	0.5
2025年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00	361	14.6	0.8
2026年3月期（予想）	—	40.00	—	40.00	80.00		20.2	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,900	3.7	3,500	0.7	3,620	△2.9	2,390	△3.3	396.37

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P.13「3. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2025年3月期	6,172,000株	2024年3月期	6,172,000株
2025年3月期	140,907株	2024年3月期	146,728株
2025年3月期	6,029,776株	2024年3月期	6,024,426株

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年3月期の個別業績 (2024年4月1日～2025年3月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	23,443	5.9	1,624	△3.8	2,053	△0.3	1,431	△3.9
2024年3月期	22,140	7.0	1,689	19.7	2,060	18.3	1,488	19.1

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期	237.41	—
2024年3月期	247.15	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	54,902	32,953	60.0	5,463.93
2024年3月期	51,078	31,894	62.4	5,293.43

(参考) 自己資本 2025年3月期 32,953百万円 2024年3月期 31,894百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 経営成績等の概況

(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・翌期の配当	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更に関する注記)	13
(セグメント情報等の注記)	13
(1株当たり情報の注記)	16
(重要な後発事象の注記)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度のわが国経済は、雇用・所得環境の改善による個人消費の持ち直しや、インバウンド需要の増加により景気は緩やかな回復基調となりましたが、米国の通商政策の影響が懸念されるなど先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループにおいては、当期が最終年度となる中期経営計画に定める基本方針「利益水準の回復と事業構造改革」に基づき、自動車運送業では神戸、大阪エリアにおける路線拡大、不動産業では優良な収益物件の取得による安定収益の確保、レジャーサービス業では淡路島に「AWAJI EARTH MUSEUM」をオープン、旅行貸切業では個人旅行需要を確実に取込むための施策などを実施しました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は前期比3,473百万円(7.0%)増の52,954百万円、営業利益は前期比329百万円(10.5%)増の3,474百万円、経常利益は前期比445百万円(13.6%)増の3,729百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比220百万円(9.8%)増の2,471百万円となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。売上高、営業利益はセグメント間の内部売上高又は振替高控除前の金額であります。

当連結会計年度のセグメント別の概要

	売上高 (百万円)			営業利益又は営業損失 (百万円)		
	前連結会計年度	当連結会計年度	増減	前連結会計年度	当連結会計年度	増減
自動車運送	22,773	24,137	1,363	998	1,423	425
車両物販・整備	9,508	10,392	883	708	875	167
不動産	6,027	6,825	797	1,487	1,430	△56
レジャーサービス	4,487	4,540	52	30	△44	△74
旅行貸切	5,885	6,635	749	110	△68	△178
その他	4,530	4,788	258	△170	△102	68

①自動車運送

路線バス部門においては、三田～大阪梅田～新大阪線などで増便したことにより利用者数が好調に推移したことに加え、運賃改定が増収に寄与しました。高速バス部門においては、需要の増加に対応して増便した関西空港線などが好調に推移しました。また、発着便の拡大が見込まれる神戸空港と兵庫県内各地（淡路市、洲本市、南あわじ市、神戸三田プレミアム・アウトレット、有馬温泉など）を繋げる神戸空港アクセスバスを拡充しました。車両管理部門においては、企業輸送の新規獲得などにより増収となりました。

以上の結果、売上高は前期比1,363百万円(6.0%)増の24,137百万円、営業利益は前期比425百万円(42.6%)増の1,423百万円となりました。

②車両物販・整備

車両物販部門においては、車両平均使用年数の長期化による整備機会の増加と部品価格の値上げが影響したことや、4月に発生した雹（ひょう）害による鈑金部品の販売が増加したことなどにより増収となりました。整備部門においては、高額修理の増加などにより増収となりました。

以上の結果、売上高は前期比883百万円(9.3%)増の10,392百万円、営業利益は前期比167百万円(23.6%)増の875百万円となりました。

③不動産

賃貸部門においては、学生向け賃貸マンション「グランネクサス三田駅前」などの賃貸開始により増収となりました。住宅部門においては、注文住宅、分譲住宅及び分譲地の引渡件数が増加したことにより増収となりました。建設部門においては、工場の新築工事などを請け負ったことにより増収となりました。

以上の結果、売上高は前期比797百万円(13.2%)増の6,825百万円となりましたが、償却費の増加などにより営業利益は前期比56百万円(△3.8%)減の1,430百万円となりました。

④レジャーサービス

サービスエリア部門においては、5月に市川サービスエリアのレストラン運営から撤退したことにより減収となりました。飲食部門においては、「まいどおおきに食堂」などが増収に寄与しました。ツタヤFC部門においては、レンタル市場の縮小に伴い売場を圧縮しましたが、物販の売場拡大やネイルサロンなど新たな商材の導入に注力しました。

以上の結果、売上高は前期比52百万円(1.2%)増の4,540百万円となりましたが、ツタヤFC部門においてネイルサロン開設の初期費用を計上したことや、3月に淡路島にオープンした「AWAJI EARTH MUSEUM」の初期費用を計上したことなどにより営業損失は44百万円(前期は営業利益30百万円)となりました。

⑤旅行貸切

旅行部門においては、バスツアー、団体旅行が好調だったことに加え、8月に催行したクルーズの集客数が増加したことにより増収となりました。貸切バス部門においては、前期に貸切バス公示運賃が改正されたことに加え、5月に開催された「世界パラ陸上競技選手権大会」の輸送を受注したことなどにより増収となりました。

以上の結果、売上高は前期比749百万円(12.7%)増の6,635百万円となりましたが、4月から開始した瀬戸内周遊ツアーの準備費用などにより営業損失は68百万円(前期は営業利益110百万円)となりました。

⑥その他

WEBサービス部門においては、ホームページ作成などの受注が減少し、農業部門においては、八百屋を閉店しましたが、経営受託部門において、既存施設の指定管理料の増額や、西播磨文化会館、こどもの館など新たな施設管理を獲得できたことなどにより増収となりました。

以上の結果、売上高は前期比258百万円(5.7%)増の4,788百万円、営業損失は102百万円(前期は営業損失170百万円)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ4,003百万円増加し、67,073百万円となりました。増減の主なものは、有形固定資産の増加2,510百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の増加698百万円、投資その他の資産の増加586百万円などであります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ1,931百万円増加し、17,610百万円となりました。増減の主なものは、借入金の増加1,028百万円、未払金の増加198百万円などであります。

(純資産)

純資産は、親会社株主に帰属する当期純利益の計上などによる利益剰余金の増加2,155百万円などにより前連結会計年度末に比べ2,071百万円増加の49,463百万円となり、自己資本比率は73.7%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べて27百万円減少し、5,919百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益3,634百万円、減価償却費2,053百万円、法人税等の支払額1,038百万円などにより4,704百万円の収入（前期は3,664百万円の収入）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出4,380百万円、投資有価証券の取得による支出736百万円などにより5,286百万円の支出（前期は6,469百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入1,600百万円、長期借入金の返済による支出571百万円、配当金の支払額316百万円、ファイナンス・リース債務の返済による支出157百万円などにより554百万円の収入（前期は1,230百万円の支出）となりました。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
自己資本比率（％）	71.8	72.9	74.1	75.1	73.7
時価ベースの自己資本比率（％）	33.8	33.2	34.6	32.5	31.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）	—	1.1	0.9	0.6	0.8
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	—	435.9	488.5	655.8	840.8

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

（注1）いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

（注2）株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

（注3）キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを使用しております。

（注4）有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

（注5）2021年3月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは、営業キャッシュ・フローがマイナスであるため記載しておりません。

(4) 今後の見通し

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
2026年3月期	54,900百万円	3,500百万円	3,620百万円	2,390百万円
2025年3月期	52,954百万円	3,474百万円	3,729百万円	2,471百万円
増減率	3.7%	0.7%	△2.9%	△3.3%

2026年3月期の連結業績予想につきまして、売上高は、自動車運送業において運賃改定の影響や大阪・関西万博への輸送、不動産業では大型建設案件の受注、旅行貸切業ではインバウンド需要の獲得などにより増収を見込んでおります。営業利益は、処遇改善や人材確保に伴う人件費の増加などにより2025年3月期並みを見込んでおりますが、経常利益は助成金収入が減少することにより減益となる見込みです。

なお、業績予想につきましては、現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・翌期の配当

当社は、経営環境の変化や将来の事業展開等に対応しうる経営基盤の堅持と株主価値向上のための投資を行うとともに、安定的な配当を維持・拡大することを基本方針としております。

このような方針のもと、当期の剰余金の配当につきましては、上記の方針と業績の動向等を総合的に勘案し、1株当たり60円とさせていただきます。

また、翌期（2026年3月期）につきましては、年間配当金80円（中間配当金40円、期末配当金40円）を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、日本国内において主要な事業活動及び財務活動を行っているため、当面は日本基準を採用することとしておりますが、今後の当社を取り巻く状況や国内他社のIFRS採用動向などを総合的に勘案し検討してまいります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,966	5,929
受取手形、売掛金及び契約資産	5,659	6,358
商品及び製品	661	671
仕掛品	263	215
原材料及び貯蔵品	123	134
分譲土地建物	501	485
その他	273	574
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	13,446	14,364
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,035	29,565
減価償却累計額	△16,271	△17,004
建物及び構築物（純額）	11,763	12,560
機械装置及び工具器具備品	3,207	3,248
減価償却累計額	△2,588	△2,667
機械装置及び工具器具備品（純額）	618	580
車両運搬具	18,513	19,222
減価償却累計額	△16,404	△17,080
車両運搬具（純額）	2,109	2,141
土地	25,907	26,440
リース資産	604	920
減価償却累計額	△240	△354
リース資産（純額）	363	565
建設仮勘定	381	1,366
有形固定資産合計	41,144	43,655
無形固定資産	288	275
投資その他の資産		
投資有価証券	3,850	4,526
退職給付に係る資産	1,925	1,953
繰延税金資産	486	532
その他	1,980	1,820
貸倒引当金	△49	△54
投資その他の資産合計	8,191	8,778
固定資産合計	49,624	52,709
資産合計	63,070	67,073

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	966	996
電子記録債務	454	392
1年内返済予定の長期借入金	571	1,653
リース債務	123	169
未払金	3,199	3,397
未払法人税等	611	808
未払消費税等	386	512
賞与引当金	1,094	1,150
役員賞与引当金	55	80
その他	2,255	2,757
流動負債合計	9,719	11,920
固定負債		
長期借入金	1,333	1,280
リース債務	305	456
繰延税金負債	1,447	1,422
役員退職慰労引当金	9	9
退職給付に係る負債	934	922
その他	1,928	1,598
固定負債合計	5,959	5,690
負債合計	15,678	17,610
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,140	3,140
資本剰余金	2,248	2,251
利益剰余金	40,445	42,600
自己株式	△440	△423
株主資本合計	45,393	47,568
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,741	1,692
為替換算調整勘定	△17	△22
退職給付に係る調整累計額	275	225
その他の包括利益累計額合計	1,998	1,895
非支配株主持分	—	—
純資産合計	47,392	49,463
負債純資産合計	63,070	67,073

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高		
自動車運送事業収益	22,558	23,924
その他の事業売上高	26,922	29,029
売上高合計	49,480	52,954
売上原価		
運送費	17,444	17,960
その他の事業売上原価	20,639	22,782
売上原価合計	38,083	40,742
売上総利益	11,397	12,211
販売費及び一般管理費	8,252	8,736
営業利益	3,145	3,474
営業外収益		
受取利息	10	10
受取配当金	79	112
仕入割引	28	30
持分法による投資利益	—	17
助成金収入	79	94
その他	69	64
営業外収益合計	267	330
営業外費用		
支払利息	5	6
持分法による投資損失	6	—
固定資産除却損	18	21
関係会社貸倒引当金繰入額	2	4
投資事業組合運用損	72	16
その他	23	28
営業外費用合計	129	76
経常利益	3,283	3,729
特別利益		
車両等購入補助金	180	220
固定資産売却益	65	—
特別利益合計	246	220
特別損失		
固定資産除却損	115	20
固定資産圧縮損	105	208
減損損失	66	53
本社移転費用	—	31
その他	—	0
特別損失合計	286	314
税金等調整前当期純利益	3,243	3,634
法人税、住民税及び事業税	1,056	1,225
法人税等調整額	△66	△62
法人税等合計	990	1,162
当期純利益	2,252	2,471
非支配株主に帰属する当期純利益	0	—
親会社株主に帰属する当期純利益	2,251	2,471

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益	2,252	2,471
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	238	△48
退職給付に係る調整額	195	△50
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	△5
その他の包括利益合計	430	△103
包括利益	2,682	2,367
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,681	2,367
非支配株主に係る包括利益	0	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,140	2,247	38,404	△453	43,339
当期変動額					
剰余金の配当			△210		△210
親会社株主に帰属する 当期純利益			2,251		2,251
自己株式の取得				△1	△1
自己株式の処分		1		14	16
非支配株主との取引に係る 親会社の持分変動		△1			△1
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					—
当期変動額合計	—	0	2,040	12	2,053
当期末残高	3,140	2,248	40,445	△440	45,393

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価 証券評価差 額金	為替換算調整勘 定	退職給付に 係る調整累 計額	その他の包括 利益累計額合 計		
当期首残高	1,501	△12	79	1,568	0	44,907
当期変動額						
剰余金の配当						△210
親会社株主に帰属する 当期純利益						2,251
自己株式の取得						△1
自己株式の処分						16
非支配株主との取引に係る 親会社の持分変動						△1
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	239	△4	195	430	△0	430
当期変動額合計	239	△4	195	430	△0	2,484
当期末残高	1,741	△17	275	1,998	—	47,392

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,140	2,248	40,445	△440	45,393
当期変動額					
剰余金の配当			△316		△316
親会社株主に帰属する 当期純利益			2,471		2,471
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		2		18	21
非支配株主との取引に係る 親会社の持分変動					—
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					—
当期変動額合計	—	2	2,155	17	2,175
当期末残高	3,140	2,251	42,600	△423	47,568

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価 証券評価差 額金	為替換算調整勘 定	退職給付に 係る調整累 計額	その他の包括 利益累計額合 計		
当期首残高	1,741	△17	275	1,998	—	47,392
当期変動額						
剰余金の配当						△316
親会社株主に帰属する 当期純利益						2,471
自己株式の取得						△0
自己株式の処分						21
非支配株主との取引に係る 親会社の持分変動						—
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	△49	△4	△50	△103		△103
当期変動額合計	△49	△4	△50	△103	—	2,071
当期末残高	1,692	△22	225	1,895	—	49,463

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	3,243	3,634
減価償却費	1,712	2,053
減損損失	66	53
賞与引当金の増減額(△は減少)	49	55
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	1	25
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△14	△11
受取利息及び受取配当金	△90	△123
支払利息	5	6
持分法による投資損益(△は益)	6	△17
助成金収入	△79	△94
固定資産売却損益(△は益)	△67	△17
固定資産除却損	133	42
固定資産圧縮損	105	208
売上債権の増減額(△は増加)	△488	△698
棚卸資産の増減額(△は増加)	△151	43
未払金の増減額(△は減少)	424	170
未払消費税等の増減額(△は減少)	△170	154
その他	△21	45
小計	4,665	5,529
利息及び配当金の受取額	90	123
利息の支払額	△5	△5
法人税等の支払額	△1,165	△1,038
助成金の受取額	79	94
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,664	4,704
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10	△0
定期預金の払戻による収入	10	10
有形固定資産の取得による支出	△6,491	△4,380
有形固定資産の売却による収入	177	40
投資有価証券の取得による支出	△2	△736
投資有価証券の売却及び償還による収入	0	115
その他	△153	△335
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,469	△5,286
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	1,600
長期借入金の返済による支出	△913	△571
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△102	△157
配当金の支払額	△210	△316
非支配株主への配当金の支払額	—	—
その他	△3	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,230	554
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,035	△27
現金及び現金同等物の期首残高	9,953	5,946
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	28	—
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	—
現金及び現金同等物の期末残高	5,946	5,919

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用しています。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っています。なお、当該会計方針の変更による連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会計間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当連結会計年度の期首から適用しています。なお、当該会計方針の変更による前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、自動車運送サービスを主とし、多種多様なサービスを広範囲にわたり顧客に提供しております。そのため、当社グループの各事業を経営的特徴、サービスの内容及びサービスの提供方法の類似性により分類・集約し、「自動車運送」、「車両物販・整備」、「不動産」、「レジャーサービス」、「旅行貸切」の5つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントの主な事業内容は以下の通りです。

自動車運送……………一般乗合・乗用・特定旅客運送、郵便物の運送、一般乗合受託、
自動車の運転・保守管理

車両物販・整備…………自動車部品・タイヤの販売、自動車の修理、保険代理

不動産……………土地造成、建物の建築、土地・建物の売買、賃貸、仲介及び管理、清掃・警備

レジャーサービス…………高速道売店等における物販を含む飲食業、ツタヤFC業

旅行貸切……………旅行業、一般貸切(貸切バス事業)、雑貨等の物品販売

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理の方法と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	自動車運送	車両物販・ 整備	不動産	レジャー サービス	旅行貸切	計		
売上高								
外部顧客への売上高	22,558	7,110	5,098	4,487	5,772	45,027	4,453	49,480
セグメント間の内部 売上高又は振替高	215	2,398	929	—	113	3,656	76	3,733
計	22,773	9,508	6,027	4,487	5,885	48,683	4,530	53,214
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	998	708	1,487	30	110	3,334	△170	3,164
セグメント資産	23,120	8,852	26,350	1,608	2,292	62,224	2,445	64,670
その他の項目								
減価償却費	981	89	448	38	103	1,661	32	1,693
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	1,295	101	4,771	40	520	6,728	48	6,777

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、経営受託、索道業、食料品・化粧品等の物品販売、広告代理、Webサービス、農業、介護、保育等を含んでおります。

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	自動車運送	車両物販・ 整備	不動産	レジャー サービス	旅行貸切	計		
売上高								
外部顧客への売上高	23,924	7,626	5,627	4,540	6,535	48,254	4,699	52,954
セグメント間の内部 売上高又は振替高	212	2,766	1,197	—	100	4,276	88	4,365
計	24,137	10,392	6,825	4,540	6,635	52,530	4,788	57,319
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	1,423	875	1,430	△44	△68	3,617	△102	3,515
セグメント資産	24,261	9,423	28,377	1,998	2,780	66,840	2,585	69,426
その他の項目								
減価償却費	1,054	93	602	34	219	2,004	30	2,034
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	1,431	85	1,872	281	342	4,014	9	4,024

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、経営受託、索道業、食料品・化粧品等の物品販売、広告代理、Webサービス、農業、介護、保育等を含んでおります。

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	48,683	52,530
「その他」の区分の売上高	4,530	4,788
セグメント間取引消去	△3,733	△4,365
連結財務諸表の売上高	49,480	52,954

（単位：百万円）

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	3,334	3,617
「その他」の区分の損失（△）	△170	△102
セグメント間取引消去	△18	△40
連結財務諸表の営業利益	3,145	3,474

（単位：百万円）

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	62,224	66,840
「その他」の区分の資産	2,445	2,585
全社資産（注）	12,310	12,956
セグメント間調整額	△13,909	△15,308
連結財務諸表の資産合計	63,070	67,073

（注）全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない余剰運用資金（現金及び預金）、長期投資資金（投資有価証券等）及び管理部門に係る資産等であります。

（単位：百万円）

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	1,661	2,004	32	30	19	18	1,712	2,053
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	6,728	4,014	48	9	158	941	6,935	4,965

（注）減価償却費の調整額、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産及び固定資産に係る未実現損益の消去によるものであります。

(1株当たり情報の注記)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	7,865.57円	8,201.45円
1株当たり当期純利益	373.72円	409.89円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	2,251	2,471
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期 純利益 (百万円)	2,251	2,471
普通株式の期中平均株式数 (千株)	6,024	6,029

- (重要な後発事象の注記)
該当事項はありません。